

11. 附属看護キャリア支援センター

11.1 看護キャリア支援センター運営委員会

委員長：林 一美 教授（附属看護キャリア支援センター長）

委員：川島教授（学長補佐）、丸岡教授（学長補佐）、武山教授（学長補佐）、石川准教授、
出村事務局長

事務局：寺井囑託

活動内容：

1. 今年度の活動

1) 今年の事業計画

事業内容 ①2期目の認知症看護認定看護師教育課程

②3期目の認定看護管理者教育課程

③県委託事業

看護教員研修事業

看護管理経営研修

④認知症看護認定看護師フォローアップ 研修

2) 認知症看護認定看護師教育機関承認後の確認審査受審

3) 北陸3県の医療・福祉関係機関の看護部責任者に対し、認知症看護認定看護師教育課程の受講ニーズ、および次年度以降の認定看護師教育課程の受講ニーズ調査を実施し、次期開講教育課程を検討する。

4) 平成30年度の事業報告書のホームページ掲載

2. 今年度の活動に対する評価

今年度の当センターの2つの教育課程（認知症看護認定看護師と認定看護管理者）実施をした。さらに2つの県委託事業を実施した。2教育課程・2県委託事業については、事業実施計画のと通りの運営が行えた。次年度の認知症看護認定看護師教育課程の入学生確保のために、北陸3県の医療・福祉関係機関の看護部責任者に対し、受講ニーズ調査をおこなった。また、秋期に入試説明会をおこない、定員以上の入試受験生の確保ができた。認知症看護認定看護師教育課程は、石川県の医療施策の一環でもあり、当初から3年の開講を予定しており、2019年度にて認知症看護認定看護師教育課程は休講予定である。次期の認定看護師教育課程に向けて、北陸3県の医療・福祉関係機関の看護部責任者に対して受講ニーズ調査を実施し、その結果から2020年は感染管理認定看護師教育課程を開講する予定となった。

また、認定看護管理者教育課程においても、当初から3年予定であったため今年度で休講予定となった。認定看護管理者教育課程運営委員会からは、再度の開講要望があった。

3. 次年度以降に向けた課題・発展

1) 看護キャリア支援センターの主たる財源は受講料であるため、受講生の定員確保は重要な課題である。受講生の確保方策や開講の継続を検討するために、毎年、看護職者の資格取得に関するニーズ調査を実施する必要がある。

- 2) 認知症看護認定看護師教育課程・感染管理認定看護師教育課程の修了生に対し、分野は異なるが、修了生の活動支援のためのフォローアップ方策は引き続き検討し、適切な内容で実施する。
- 3) 次年度は認知症看護認定看護師教育課程実施と並行して、感染管理認定看護師教育課程開講準備期間として、教員の確保、カリキュラム構築、入学試験の実施等、開講に向けての準備を整える必要があるため、関係機関の協力を得て行う。
- 4) 認定看護管理者教育課程が閉講し、教員2名の定員削減となる。石川县委託事業については、引き続き前任者に企画・運営を依頼し行わねばならない。また、センター事業に関する教務・入試事務等に関しても、少人数で対応しなければならなくなるため、確実な業務運営が求められる。

11.2 認知症看護認定看護師教育課程

11.2.1 受講生の受講・修了状況

	定員	入学者数	修了者数
平成29年度	30	33	33
平成30年度	30	31	31

11.2.2 入学試験・入試説明会の実施

1) 入学試験の実施

平成29年5月13日（土）（平成29年度入学生）

平成30年3月 3日（土）（平成30年度入学生）

平成31年3月 2日（土）（平成31年度入学生）

	定員	応募数	合格者数
平成29年度入学生	30	86	33
平成30年度入学生	30	49	31
平成31年度入学生	30	34	29

2) 入試説明会の実施

平成30年10月20日（土） 参加者：35名

11.2.3 認知症看護認定看護師教育課程入試委員会

委員長：林 一美 教授（附属看護キャリア支援センター長）

委員：中道講師、多幡講師、堅田助教

久米真代（金城大学）、松田美紀（石川県済生会金沢病院）、福井亜紀（芳珠記念病院）、
和田博之（福井県立すこやかシルバー病院）

事務局：寺井囑託

- 活動内容：1. 入学者募集要項・選抜方法の検討
2. 入学試験の実施体制の検討
3. 入学者の可否判定

11.2.4 認知症看護認定看護師教育課程教員会

委員長：林 一美 教授（附属看護キャリア支援センター長）

委員：川島教授（学長補佐）、多幡講師、堅田助教

吉野幸枝（石川県看護協会）、永田厚子（石川県立高松病院）、富澤ゆかり（金沢赤十字病院）、林浩靖（光ヶ丘病院）

事務局：寺井囑託

- 活動内容：1. 教育課程の内容、教育環境整備に関する検討
2. 受講生の修了判定

11.3 認定看護管理者教育課程

11.3.1 受講生の受講・修了状況

	定員	入学者数	修了者数
平成29年度	25	24	24
平成30年度	25	23	23

11.3.2 認定看護管理者教育運営委員会

委員長：林 一美 教授（附属看護キャリア支援センター長）

委員：武山教授（附属地域ケア総合センター長）、丸岡教授（学長補佐）石川准教授、出口特任講師、塩村京美（石川県看護協会）、中西容子（金沢市立病院）、野村仁美（地域医療機能推進機構金沢病院）、中瀬 美恵子（浅ノ川総合病院）

事務局：寺井囑託

- 活動内容：1. 受講生の決定と修了判定
2. 教育課程の内容・方法、教育環境整備に関する検討

11.4 石川县委託事業の開催

11.4.1 石川県看護教員現任研修事業

〈「臨床判断」モデルの概要と基礎教育・新人教育での活用〉

- 1) 目的：「臨床判断」モデルについて知り、基礎教育と新人教育での活用をさぐる。
- 2) 開催時期：平成30年8月4日

- 3) 受講生：131名
- 4) 内容：「臨床判断モデル」の概要と基礎教育・新人教育での活用

〈「パフォーマンス評価」の理解を深める〉

- 1) 目的：学習者の思考・判断・表現力を育成するためのパフォーマンス評価を理解し、実際の授業展開ができる。
- 2) 開催時期：平成30年8月18日、12月8日
- 3) 受講生：8月18日（65名）、12月8日（34名）
- 4) 内容：パフォーマンス評価の理解、パフォーマンス評価を用いた授業づくり、看護学教育におけるパフォーマンス評価の実際

11.4.2 管理者経営研修

- 1) 目的：地域包括ケア時代における看護管理者の役割を果たすうえでの知識を修得し、自らの行動を明確にする。
- 2) 開催時期：平成30年9月13日～9月29日の4日間
- 3) 受講者：33名（看護師長以上の職位にある者）
- 4) 内容：看護と介護の連携を考える、人々の在宅療養を支援し地域に根ざす病院の役割、看護現場学から考えるナースのキャリア開発支援、看護管理者のための病院経営数字力、組織分析に基づく看護管理上の課題解決に向けた戦略 24時間

11.5 感染管理認定看護師フォローアップ研修

- 1) 目的：薬剤耐性における感染対策チームと抗菌薬適性使用支援チームの活動と役割を知り、自施設における感染管理活動にいかす。
- 2) 開催時期：平成30年9月29日
- 3) 受講者：52名
- 4) 内容：薬剤耐性における感染対策チームと抗菌薬適性使用支援チームの活動と薬剤師の役割、兼任感染管理認定看護師の活動と役割